

オンライン読書会を通して Reading Community を支援する

4 質の高い教育を
みんなに



キーワード

英語多読・オンライン読書会・生涯学習・Reading Community

○取り組んだきっかけ

2014年から静岡市北部図書館において、生涯学習としての英語多読を支援してきた。選書依頼から始まった取り組みは、その後LINEを活用しての情報交換、そしてさらに対面式英語多読サークルへと発展してきた。参加者の方々の英語力も徐々に向上し、この活動を本格的な英語読書へとつなげていくための試みとして、オンラインでの読書会を企画した。

○活動の目的

英語多読は英語学習方法の一つとして既に認知されているが、その最終的な到達目標は、言語を問わず読書を楽しむということにあると考える。このため、共通の本を参加者が読みあひながら、英語表現や語彙だけでなく、作品を鑑賞し登場人物や文化等、感想を共有することを目的としている。

○具体的な内容



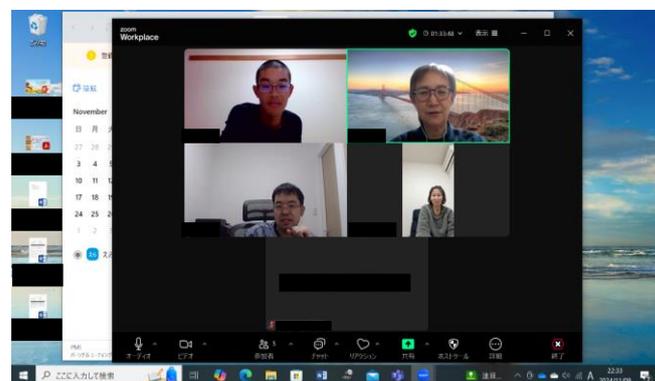
は持ち合わせているので、それを拠りどころとして、選書をしている。一回一章を基準として事前に該当範囲を読了して参加することが基本であるが、そうすると範囲まで読み終わっていない人は参加しづらくなってしまうので、あくまでも参加して意見交換をしたり、他者の感想を知ること大切であるため、「参加すること」を最も重要な点としている。これまで2作品を読了したが、作品に込められた作者の意図や文化背景に至るまで、大いに議論が盛り上がった。適切な選書であったと考えている。

<Zoomでの読書会の進め方>

自身は支援者として一応司会者の役割を担っているが、参加者が自由に発言できるような雰囲気づくりを心掛けている。時には、会の進行を参加者の発言の流れに任せることも大切である。関連な意見交換が可能となるよう気を配ることが大切である。

○期待される効果

参加者は、「英語の本を原書で読みたい」「読後感を他の参加者と共有したい」という目的で参加している。参加することで英語読書のmotivationが維持され、より英語読書を楽しめるようになる。オンラインでの開催のため、場所や時間の制約が少なく、ある程度自由に参加が可能となった。これまでの会を通じて、読書に興味を持つ参加者と、オンライン上の共通の空間で意見交換をし、新しい解釈や異なる感想に触れることが新鮮で心地よく、英語多読の楽しみを満喫できると、感想をいただいている。生涯多読の場合には、参加者が緩くつながりながら、読書の楽しみを共有していくことが大切であると考えている。



オンライン読書会は以下の内容で開催している。

①日時: 基本的に月に一回、第2土曜日を開催日とし、毎回2時間ほどを開催時間として予定している。議論が白熱した場合には、多少延長もある。

②連絡手段: 会の運営に関する詳細や、本の選択、および感想等をLINEを通して共有している。

③開催方法: Zoomを通しての開催である。

④具体的内容

<読書本の選択> 参観者の英語力を考慮しつつも、英語読書として鑑賞するに値する作品を選択するように努めている。多読の領域では、質の高い作品には様々な賞が授与されるため、それを一つの参考としたり、これまでの英語多読を長い間にわたって指導して来た経験から、ある程度の良書を見る目

良知恵美子

外国語学部 英米語学科

教授



連携先